"平和・交流・共生"の文化を学ぶ旅

人類が二度と戦争の惨禍を繰り返さないことを願っ て1945年に創設された国際連合教育科学文化機関(ユ ネスコ) の憲章前文には、「戦争は人の心の中で生まれ るものであるから、人の心の中にとりでを築かなけれ ばならない | と謳われています。

アジア太平洋戦争の重要な軍事拠点であった南房総・ 館山には、1945年9月3日に米占領軍が上陸し、「4日間」 の直接軍政が敷かれました。日本がユネスコに加盟す る1951年に先駆けて、平和を希求した人びとの尽力に より、1948年に千葉県内初の館川ユネスコ協力会が誕 生しています。

ユネスコの世界遺産条約には、世界の人びとが異な る歴史や文化を互いに尊重し理解し合うことで、世界 の平和発展の礎にしようという理念があります。私た ちはこの精神にならい、地域にある歴史・文化遺産を 通じて、平和・交流・共生、の文化を学ぶとともに、こ れらを活かした地域づくりを目ざしてNPO法人を立 ちトげました。

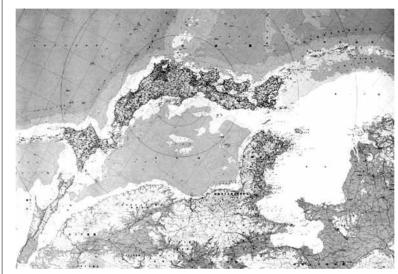
小中高・大学の平和学習・総合学習や教員研修、企 業・労組の平和・人権研修、コミュニティや観光・商 工会の地域づくり視察などのスタディツアーや講演を 提供しています。ご希望に応じたツアーをコーディネ ートいたします。



1945.9.3 AM9:20 館山に米占領軍初 F陸

見る 歩く 学ぶ 集う

安房国再発見



(環日本海諸国図 富山県作成)

房総半島南部の安房国は…

日本列島のほぼ中央で太平洋に突き出ているのがわかりま す。南房総・安房の自然や歴史的環境を見つめなおしていくと、 海とともに生きてきた先人たちの知恵や精神を学ぶことができ ます。それは海路の拠点として海洋民が交流し、異なる文化や 価値観を互いに認め合い、あるいは天変地異や戦乱を乗り越え て、"平和・交流・共生"の文化を生み出してきたコミュニテ ィの姿です。

これらを学ぶことは、いまを生きる私たちに誇りや喜びを蘇 らせてくれるばかりではなく、現代社会が直面している様々な 地域課題を解決するヒントを示唆してくれています。"いまあ るもの"を活かし、全国から訪れる人びととの交流を育みなが ら、地域づくりの輪を広げていきたいと願っています。

NPO法人 南房総文化財・戦跡保存活用フォーラム

〒294-0036 千葉県館山市館山95-70

TEL&FAX: 0470-22-8271 Eメール npo@internet-ex.com ホームページ http://www.internet-ex.com/npo/



小高喜郎記念館

たてやま海辺のまちかど博物館

開館時刻 10:00~16:00 入館料 無料 火・水・木曜日および年末年始 ※ 諸事情により変更になる場合があります。

<交通のご案内>

- 内房線特急「さざなみ」館山駅下車
- 高速バス「なのはな号」「南総里見号」館山駅下車
- 館山駅東口から日東バス・JRバスにて「館山小学校前」下車、 館山築港に向かって徒歩5分
- 館山駅西口からタクシーで3分





NPOの理念に賛同し、【小高熹郎記念館~たてやま海辺のまちかど博物館】の維持修繕・運営、および安房地域の歴史文化の調査研究と保存・活用した各種事業へのご支援をいただける賛助会員(年間1口1万円)を募っています。また、ガイド活動などの社会貢献活動に参加する一般会員(年間通信費1,000円・夫婦会員は1,500円)も募集中です。右申込書をコピーしてFAXあるいはメールで送り、下記口座にご入金をお願いいたします。ニュースレターを送付します。

郵便振替 00100-0-334130 名義: 南房総文化財・戦跡保存活用フォーラム

書籍のご案内



あわ・がいど①戦争遺跡

館山市を中心とした南房総地域の戦争遺跡 を紹介した地域限定のガイドブックです。 戦跡のスタディツアー参加者には1冊ずつ差 し上げます。 600円



太平洋にかかる橋

~アワビがむすぶ南房総·モントレー 民間交流誌 - 日英語版 -

明治期に渡米した房総のアワビ漁師たち。 アメリカの食文化に革命を起こし、日米親善 に貢献しながら、戦争に巻き込まれ数奇な運 命をたどる。 600円



あわ・がいど②房総里見氏

『南総里見八犬伝』のふるさと安房国に残る里見氏の城跡を美しいイラスト入りで紹介したガイドブックです。 里見スタディツアー参加者には1冊ずつ差し上げます。600円



合唱組曲 (楽譜)

『ウミホタル〜コスモブルーは 平和の色』

作詩:大門高子 作曲:藤村記一郎

館山湾に生息し、青く輝くウミホタル。戦時中、子どもたちが採取を命じられていたエピソードから誕生した、館山発祥の平和の歌。 600円



足もとの地域から世界を見る

~授業づくりから地域づくりへ~

当NPO代表・愛沢伸雄が高校社会教師として地域教材を活用した授業実践から、文化財保存運動を経て、地域づくりのNPO設立にいたるまでをまとめた論文集。 600円



海とともに生きるまち

生まれ育ったまちでも、意外に知らないことが多いもの。何気なく歩いている通りでも、 ふと足もとの石ころに目をとめれば、そこか らたくさんの物語が見えてくる。

600円

O# 7	差望	-	-	~ ~	

- Books松田屋 0470-23-1661
- 宮沢書店 0470-23-7771

● 入会申込書 ●

NPO法人南房総文化財・戦跡保存活用フォーラム FAX: 0470-22-8271 npo@internet-ex.com 申込日 年 月 日

種別	□賛助会員 □一般会員(個人・夫婦)
氏 名 (フリガナ)	生年月日(大正・昭和・明治) 年 月 日
住 所	₸
勤務先	自宅
	FAX
	携带
Eメール	PC
	携帯
HP	
勤務先	社名 電話 FAX Eメール
加盟 サークル 等	
	□ 里見氏稲村城跡を保存する会□ 館山地区戦跡保存調査サークル
備考	
	※ガイド活動や勉強会等の希望、参加可能形態 や曜日等をお書き下さい。



安房国再発見! スタディツアーのご案内



地域まるごとミュージアム・安房

○ 東京湾要塞とアジア太平洋戦争

重要な軍事拠点であった南房総・安房では、15年戦争の最初から最後まで、また加害と被害の両面を戦争遺跡から学ぶことができる。「陸の空母」と呼ばれた館山海軍航空隊は、とくに艦上攻撃機のパイロット訓練がおこなわれた。

戦争末期には本土決戦に備えて陸海軍7万人の兵士が配備され、農民は食糧供出を 強要され、花づくりが禁止された。1945年9月3日、米占領軍約3,500名が館山に上陸し、 本土で唯一「4日間」の直接軍政が敷かれた。

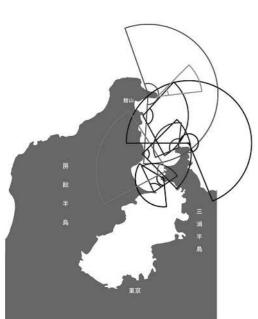
館山市内の代表的な戦争遺跡である赤山地下壕は、平和学習の拠点として 2004 年 4 月に一般公開となり、翌年には市の指定文化財となった。

■ 戦争遺跡 基本コース

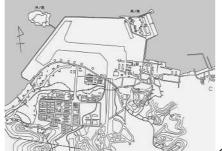
赤山地下壕、戦闘機用掩体壕、洲ノ埼海軍航空隊射撃場、米占領軍上陸地

■ オプション

座学「館山から見るアジア太平洋戦争」「戦跡を活用した教育と地域づくり」 128高地「戦闘指揮所」「作戦室」地下壕、「噫従軍慰安婦」碑、 館山海軍砲術学校跡、特攻艇「震洋」基地、特攻機「桜花」基地 …など







○ 房総里見氏と《里見八犬伝》の世界

上野国(群馬県)を発祥とする房総里見氏は、伯耆国(鳥取県)に移封されるまで、170 年間にわたって安房国(房総半島南部)を統治した。200 年後、曲亭馬琴が28 年かけて書き上げた長編小説『南総里見八犬伝』は、江戸期から現代に至るまで日本中の人びとを魅了している。

『八犬伝』の舞台である稲村城跡は、里見氏の歴史では天文の内乱がおきた地であり、戦国期の遺構にふれることができる文化遺産である。近年は市民による整備やガイドがおこなわれ、 里山のウォーキングコースとして人気が高まっている。

■ 里見の歴史 ~館山城編~

館山城跡、鹿島堀、慈恩院、妙音院 館山市立博物館(本館) …など

■ 八犬伝ロマンの舞台

館山市立博物館(分館:八犬伝博物館) 伏姫籠穴、富山、犬掛、滝田城 …など

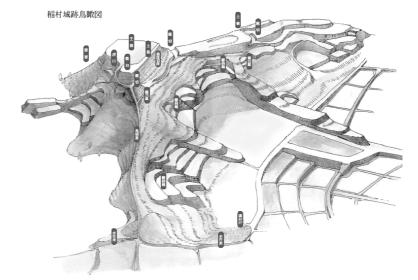
■ 稲村城跡の里山ウォーク

主郭部、中郭部、腰曲輪、垂直切岸、 堀切、尾根道、水往来 …など

■ オプション

里見の語り部、『里見八犬伝』紙芝居 …など





○ アワビとクジラと太平洋

房総捕鯨の祖・醍醐新兵衛は、江戸時代から勝山で代々捕鯨を営んできた。明治期になると、アメリカ式捕鯨や鮭鱒の人工孵化、缶詰工場、改良揚繰網漁などを導入した関澤明清は、館山を拠点として水産教育や近代水産業の発展に貢献した。現在、関東唯一の基地として和田で伝統を継承している。

明治後期、小谷源之助・仲治郎兄弟をはじめとする房総のアワビ漁師(海士)たちはアメリカ・モントレーへ渡り、器械式潜水漁をはじめ、アワビのステーキや缶詰など新しい食文化を浸透させた。しかし開戦と同時に日系人強制収容所に移され、本土侵攻計画の情報収集に協力させられたという。

■ 太平洋を渡ったアワビ漁師のふるさと

アワビ漁師たちの生家、ハリウッド俳優早川雪洲生家、 長性寺(渡米アワビ漁先駆者小谷家の墓、鯨塚) …など

■ 北下台(ぼっけだい)から見る近代水産業の発展

小高熹郎記念館と北下台〜関澤明清の碑、正木燈、 千葉県立安房博物館(器械式潜水具、万祝、漁撈具展示) 近代捕鯨と水産教育の発祥地 …など





○ ハングル「四面石塔」と アジアの友好

館山の大巌院にある「四面石塔」には、和風漢字・中国篆字・印度梵字・朝鮮(韓国)ハングルの字形でそれぞれ「南無阿弥陀仏」と刻まれている。雄譽霊巌が建立した 1624 年は、朝鮮通信使が修交し、朝鮮侵略(文禄の役)から三十三回忌にあたることから、戦没者供養と世界平和祈願がこめられていると推察される。

千倉には、江戸期に清国(中国)の遭難船・元順号を救助した記念碑があり、戦前は中国留学生が滞在した宿舎が館山にあった。昭和初期、韓国済州島から出稼ぎにきて活躍した海女たちの多くは現在、鴨川の長興院に墓が建てられ眠っている。

■ 海路を伝ったアジアとの交流

大巌院「四面石塔」、元順号遭難救助華の碑、 日中学舎跡、長興院(韓国海女の墓)、 水産講習所初代練習船・快鷹丸殉難 …など

■ オプション

ビーチコーミングで貝がらとアジアのごみ拾い学習 …など



北面北京	西面	西南四八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八	東面東面
以 在 一	本本館的論的供	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	※ 上口下の合の口の白の部 路

○ 房総の海に魅せられた画家や文人墨客たち

房総の海に魅せられた画家や文人墨客はたびたびこの地を訪れている。風光明媚な自然とエネルギッシュな人びとの営みに鼓舞され、多くの秀作が誕生している。小さな漁村・布良(めら)では、1904年に青木繁が『海の幸』(国重文)を描いた。中村彝(つね)は結核療養で訪れた館山で画家を志し、1910年に『海辺の村(白壁の家)』を描いている。

文学では、林芙美子が『房州白浜海岸』を著したほか、正岡子規、若山牧水、佐佐木信綱、島崎藤村、夏目漱石、サトウハチロウ、白鳥省吾、高田敏子らが足跡を残している。

■ 青木繁『海の幸』と神話のふるさと 青木繁『海の幸』- 石橋美術館蔵- 「海の幸」記念碑





■ 安房が舞台となった映画やドラマ

近年では、館山の戦跡を舞台に撮影した『赤い鯨と白い蛇』(せんぼんよしこ監督)が評判になっている。かつては、石原裕次郎の『嵐の中を突っ走れ』『錆びたナイフ』、赤木圭一郎の『海の情事に賭けろ』、美空ひばりの『ふり袖太平記』など。テレビドラマでは、『ビーチボーイズ』『世界の中心で愛を叫ぶ』・・・はじめ人気作品多数。

■転地療養と震災復興

温暖で、果樹や牛乳の産地であり、転地療養の適地であった安房には、山村暮鳥、坪野平太郎(南陽)、石川啄木夫人、中原淳一らが訪れ滞在している。その背景には、江戸・明治を通じて活動した医者や、コルバン夫妻などキリスト教による医療伝道の貢献も大きい。

また、元禄大地震や関東大震災で壊滅的な打撃を受けた安房では、隆起した干潟を新田や 港湾にしたり、地すべり地帯に棚田をつくるなど、知恵を結集して災害から復興してきた。

■ 産業を興した安房ゆかりの人びと

福原有信(資生堂)、森矗昶(昭和電工)、池貝庄太郎(池貝鐵工所)、岩城滝次郎(岩城硝子)、岩城庄七(房州団扇)、成瀬政男(歯車研究)、古市公威(土木工学)、関澤明清(水産)、万里小路通房(促成栽培)、間宮七郎平(花栽培) …などなど、安房偉人伝は世界的です。





獸日本旅行業協会

≪ツアーガイドのご案内≫

●対象: 10 名以上の団体 ●ガイド料: 参加者1人あたり1,500 円~ ※ ガイドブック・座学つき。料金は行程・時間・日数によって異なります。 応相談。

NPO法人 安房文化遺産フォーラム

(旧名称:南房総文化財・戦跡保存活用フォーラム) 〒294-0036 千葉県館山市館山 95 小高記念館 TEL&FAX:0470-22-8271 Eメール awabunka@awa.or.jp ホームページ http://www.internet-ex.com/npo/